

I 有害大気汚染物質モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、人が継続的に摂取した場合に健康を損なうことが懸念される物質であることから、県及び大気汚染防止法に定める政令市（さいたま市、川越市、川口市、所沢市、越谷市）では、大気汚染防止法に基づき、平成9年10月からモニタリング調査を実施している。

1 調査地点

県は、全国標準監視地点6地点（表I－1）で、政令市は、全国標準監視地点7地点、地域特設監視地点11地点の計18地点（表I－2）で調査を実施した（図I－1）。

表I－1 県調査地点

地点区分	地域分類 (旧区分)	地点名	試料採取場所	所在地
全国標準監視地点	一般環境	熊谷測定局	熊谷市役所	熊谷市宮町2-47-1
		東松山測定局	五領町近隣公園	東松山市五領町8
		春日部市役所	春日部市役所	春日部市中央6-2
		環境科学国際C測定局	環境科学国際センター	加須市上種足914
	沿道	草加市花栗自排測定局	花栗中学校	草加市花栗4-15-12
		戸田美女木自排測定局	西部福祉センター	戸田市美女木5-2-16

表 I－2 政令市調査地点

政令市名	地点区分	地域区分 (旧区分)	地点名
さいたま市	全国標準監視地点	一般環境	さいたま市役所測定局
		沿 道	三橋自排測定局
	地域特設監視地点	一般環境	大宮区役所
			健康科学研究センター
			指扇測定局
			岩槻測定局
		沿 道	曲本自排測定局
			大和田自排測定局
川越市	全国標準監視地点	一般環境	川越測定局
			高階測定局
	地域特設監視地点	沿 道	仙波測定局
川口市	全国標準監視地点	一般環境	南平測定局
	地域特設監視地点		芝測定局
			石神配水場
		沿 道	神根測定局
所沢市	全国標準監視地点	一般環境	北野測定局
	地域特設監視地点	沿 道	和ヶ原測定局
越谷市	全国標準監視地点	一般環境	東越谷測定局

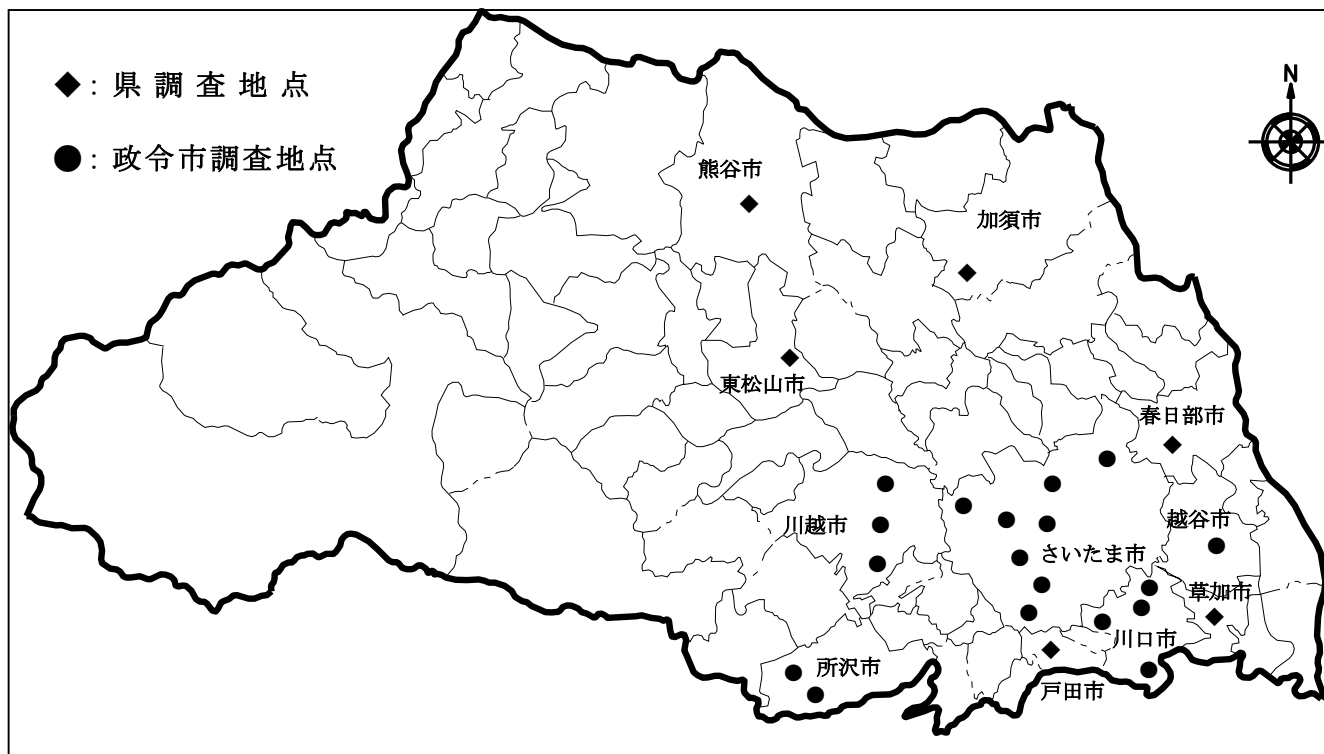


図 I-1 調査地点

2 調査対象物質

本調査は、「大気汚染防止法第22条の規定に基づく大気汚染の状況の常時監視に関する事務の処理基準」（環境省）に定められた21物質（A）と、その他6物質（B）の計27物質を対象とした。

A	ベンゼン*	トリクロロエチレン*
	テトラクロロエチレン*	ジクロロメタン*
	アクリロニトリル*	塩化ビニルモノマー*
	水銀及びその化合物***	ニッケル化合物***
	ヒ素及びその化合物***	クロロホルム*
	1,2-ジクロロエタン*	1,3-ブタジエン*
	マンガン及びその化合物***	アセトアルデヒド**
	塩化メチル*	酸化エチレン
	トルエン*	ベリリウム及びその化合物***
	ベンゾ[a]ピレン	ホルムアルデヒド**
	クロム及びその化合物***	
B	亜鉛及びその化合物***	カドミウム及びその化合物***
	キシレン類*	鉛及びその化合物***
	バナジウム及びその化合物***	浮遊粉じん

※各物質名の右上に以下の分類ごとに記号を示した。

*揮発性有機化合物（VOC）

**アルデヒド類

***重金属類

3 調査方法

本調査は、「有害大気汚染物質測定方法マニュアル」に従い、表 I - 3 に示す方法で行った。

表 I - 3 調査方法一覧

調 査 対 象 物 質	調 査 方 法
揮発性有機化合物（VOC）	容器採取（減圧採取装置）－GC/MS法
アルデヒド類	固相捕集－HPLC法
酸化エチレン	固相捕集－溶媒抽出－GC/MS法
ベンゾ[a]ピレン	ハイボリウムエアサンプラ捕集－超音波抽出－HPLC法
水銀及びその化合物	金アマルガム捕集－加熱気化冷原子吸光法
その他の重金属類	ハイボリウムエアサンプラ捕集－誘導結合プラズマ質量分析法

（1） 試料採取方法

各物質とも以下に示す方法で毎月1回24時間連続採取した。また、精度管理のためにトラベルブランク3試料と二重測定1試料を月ごとに地点を変えて採取した。

① VOC

あらかじめ減圧にしたキャニスタに定流量制御装置を接続して、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を採取した。

② アルデヒド類

オゾンスクラバを前段に接続した2,4-DNPH捕集管に、直接又は大気汚染常時監視測定局コンテナ等の室内にあるサンプリングマニホールドから大気試料を吸引し捕集した。

③ 酸化エチレン

グラファイトカーボン系吸着剤を臭化水素酸に含浸させ乾燥させたものを充填した捕集管に直接大気試料を通気し、酸化エチレンを誘導体化して2-ブロモエタノールとして捕集した。

④ ベンゾ[a]ピレン

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

⑤ 水銀及びその化合物

珪藻土粒子等の表面に金を焼き付けした捕集剤を充填した捕集管を用いて大気を吸引し、水銀を金アマルガムとして捕集した。

⑥ その他の重金属類

ハイボリウムエアサンプラにより石英繊維ろ紙上に浮遊粉じんを捕集した。

(2) 分析方法

各物質は以下に示す方法に従い分析を行った。分析に当たっては、操作ブランク試験、トラベルブランク試験、分析装置の感度試験、二重測定試験及び定量下限値測定を実施して測定の信頼性を評価し、適宜再測定又は測定値の補正を行った。

① VOC

試料を試料導入装置で低温濃縮した後、GC/MS法により分析した。

② アルデヒド類

誘導体として捕集管に採取した試料をアセトニトリルで抽出し、HPLC法により分析した。

③ 酸化エチレン

誘導体として捕集管に採取した試料をトルエン/アセトニトリルで抽出し、GC/MS法により分析した。

④ ベンゾ[a]ピレン

ろ紙試料の適量についてジクロロメタンを用いて超音波抽出を行い、HPLC法により分析した。

⑤ 水銀及びその化合物

捕集管を加熱し、気化した原子状水銀を原子吸光法により分析した。

⑥ その他の重金属類

ろ紙試料の1/4を圧力容器法による前処理を行い、誘導結合プラズマ質量分析法により分析した。

4 調査結果

各物質の地点別年平均濃度を表Ⅰ－４～７に示す。

なお、検出下限値未満の測定値が得られた月については検出下限値の1/2の濃度として取り扱った。

表Ⅰ－８に環境基準達成率の推移を、表Ⅰ－９に国内外の環境基準値や指針値等を示す。

令和5年度の測定結果を環境基準及び指針値と比較すると、全ての地点で環境基準及び指針値を下回っていた。

表 I - 4 各物質の地点別年平均濃度①

測定主体	地点区分	測定地点の名称	環境基準設定物質				指針値設定物質								
			ベンゼン	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	ジクロロ メタン	アクリロ ニトリル	塩化 ビニル モノマー	水銀 及び その 化合物	ニッケル 化合物	ヒ素 及び その 化合物	クロロホルム	1, 2- ジクロロ エタン	1, 3- ブタジエン	マンガン 及び その 化合物
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³
埼玉県	全国標準監視地点	熊谷測定局	0.81	0.54	0.063	1.7	0.080	0.036	1.7	1.3	0.67	0.16	0.15	0.10	15
			0.60	0.45	0.072	1.6	(0.066)	(0.026)	1.8	0.86	0.55	0.19	0.081	0.11	11
	全国標準監視地点	東松山測定局	0.79	0.53	0.074	2.4	(0.067)	(0.026)	1.7	1.1	0.67	0.20	0.15	0.099	13
			0.56	0.49	0.078	3.1	(0.070)	(0.029)	1.8	1.0	0.50	0.29	0.085	0.10	11
	全国標準監視地点	春日部市役所	0.97	0.67	0.091	1.8	0.072	0.042	1.8	1.4	0.69	0.20	0.97	0.076	15
			0.67	0.74	0.089	2.0	(0.065)	(0.031)	1.8	1.1	0.56	0.25	0.080	0.12	12
	全国標準監視地点	環境科学国際C測定局	0.79	0.82	0.083	2.2	(0.066)	0.056	1.7	1.2	0.63	0.20	0.15	0.088	12
			0.55	0.87	0.070	5.3	(0.064)	(0.031)	1.6	1.1	0.58	0.25	0.088	0.089	11
	全国標準監視地点	草加市花栗自排測定局	1.2	1.0	0.18	1.9	0.12	0.10	1.7	2.0	0.76	0.22	0.16	0.19	15
			0.92	0.97	0.13	1.7	(0.078)	(0.028)	1.9	1.4	0.61	0.21	0.080	0.20	13
	全国標準監視地点	戸田美女木自排測定局	0.88	0.85	0.37	1.9	(0.062)	0.056	1.7	2.4	0.70	0.26	0.16	0.10	20
			0.67	1.3	0.26	2.0	(0.071)	(0.029)	1.8	2.2	0.63	0.33	0.090	0.12	25
さいたま市	全国標準監視地点	さいたま市役所測定局	0.59	0.63	0.20	1.3	0.024	0.022	1.8	2.0	0.94	0.16	0.12	0.041	20
			0.61	0.71	0.21	1.5	0.022	0.009	1.8	1.7	0.77	0.17	0.060	0.048	19
	全国標準監視地点	三橋自排測定局	0.74	0.83	0.12	1.5	0.021	0.021	2.0	2.5	0.94	0.16	0.13	0.056	22
			0.77	1.0	0.081	1.5	0.023	0.006	1.8	1.8	0.77	0.16	0.070	0.087	19
	地域特設監視地点	大宮区役所	0.58	0.58	0.10	1.3	0.022	0.025		3.2	0.91	0.15	0.13	0.037	22
			0.57	0.66	0.088	1.3	0.020	0.009		1.9	0.75	0.16	0.060	0.044	20
	地域特設監視地点	健康科学研究センター	0.59	0.64	0.096	1.8	0.022	0.018		2.0	0.99	0.25	0.13	0.038	20
			0.60	0.73	0.11	3.9	0.016	0.011		1.6	0.84	0.21	0.060	0.049	21
	地域特設監視地点	指扇測定局	0.63	1.1	0.068	1.5	0.024	0.019				0.16	0.34	0.039	
	地域特設監視地点	岩槻測定局	0.73	1.0	0.13	1.7	0.035	0.067				0.16	0.13	0.038	
			0.71	0.87	0.087	2.1	0.025	0.013				0.14	0.070	0.069	
	地域特設監視地点	曲本自排測定局	0.73											0.070	
			0.73											0.079	
	地域特設監視地点	大和田自排測定局	0.71											0.047	
			0.79											0.082	

上段は令和5年度、下段は令和4年度の値

は、測定未実施

(注) 検出下限値未満のデータが存在する場合には、原則として、当該検出下限値に1/2を乗じた値を用いて年平均濃度を算出した。
全検体が検出下限値未満であった等の理由により、年平均濃度が検出下限値を下回る場合には、年平均濃度を括弧書きで表示した。

表 I - 5 各物質の地点別年平均濃度②

測定主体	地点区分	測定地点の名称	環境基準設定物質				指針値設定物質								
			ベンゼン	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	ジクロロ メタン	アクリロ ニトリル	塩化 ビニル モノマー	水銀 及び その 化合物	ニッケル 化合物	ヒ素 及び その 化合物	クロロホルム	1, 2- ジクロロ エタン	1, 3- ブタジエン	マンガン 及び その 化合物
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³
川越市	全国標準監視地点	川越測定局	0.65	0.50	0.041	2.1	0.011	0.0082	1.5	5.5	0.54	0.16	0.080	0.026	13
			0.61	0.64	0.085	3.6	0.021	0.0075	1.6	7.0	0.74	0.14	0.072	0.093	20
	全国標準監視地点	高階測定局	0.63	0.66	0.037	2.6	0.014	0.0086	1.6	1.4	0.56	0.19	0.082	0.026	13
			0.57	1.0	0.085	2.6	0.028	0.0032	1.6	1.4	0.71	0.13	0.069	0.089	19
	地域特設監視地点	仙波測定局	0.70											0.030	
			0.67											0.12	
川口市	全国標準監視地点	南平測定局	0.86	2.0	0.32	2.1	0.059	0.083	1.8	3.8	0.77	0.24	0.15	0.071	26
			0.81	1.7	0.73	2.4	0.057	0.010	1.6	3.6	1.0	0.25	0.11	0.077	33
	地域特設監視地点	芝測定局	0.74	0.65	0.11	1.3	0.041	0.033	1.8	2.6	0.69	0.19	0.14	0.053	22
			0.69	0.64	0.087	1.3	0.037	0.007	1.7	2.4	0.92	0.19	0.11	0.051	25
	地域特設監視地点	石神配水場								2.6	0.68				18
										2.4	1.0				23
所沢市	全国標準監視地点	北野測定局	0.85											0.073	
			0.80											0.075	
	全国標準監視地点	北野測定局	0.64	1.3	0.038	1.1	0.0058	0.0082	1.6	0.99	0.50	0.15	0.084	0.024	8.8
			0.55	0.81	0.10	1.2	0.024	0.0029	1.7	1.1	0.60	0.12	0.065	0.060	12
越谷市	全国標準監視地点	東越谷測定局	0.74											0.046	
			0.67											0.087	
越谷市	全国標準監視地点	東越谷測定局	0.88	0.72	0.10	3.0	0.044	0.057	1.8	2.0	0.71	0.18	0.10	0.075	16
			0.73	1.0	0.097	3.0	0.033	0.014	1.8	1.8	0.66	0.16	0.059	0.095	14

上段は令和5年度、下段は令和4年度の値

は、測定未実施

表 I - 6 各物質の地点別年平均濃度③

測定主体	地点区分	測定地点の名称	指針値設定物質		その他の優先取組物質						優先取組物質以外の物質					その他
			アセト アルデヒド	塩化 メチル	酸化 エチレン	トルエン	ベンゾ ア ピレン 化合物	ベンゾ [a] ピレン	ホルム アルデヒド	クロム及び その 化合物	亜鉛 及び その 化合物	カドミウム 及び その 化合物	キリン類	鉛及び その 化合物	バナジウム 及び その 化合物	
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³
埼玉県	全国標準監視地点	熊谷測定局	2.4	2.0	0.057	13	(0.003)	0.085	3.0	1.8	41	0.14	1.7	5.6	1.5	32
			1.6	1.6	0.047	10	(0.004)	0.049	2.3	1.7	35	0.12	2.0	4.4	0.97	25
	全国標準監視地点	東松山測定局	2.3	2.2	0.050	8.3	(0.003)	0.10	2.9	1.7	42	0.12	1.8	6.4	1.4	35
			1.7	1.4	0.049	7.6	(0.004)	0.066	2.3	1.6	34	0.11	2.2	3.6	1.1	28
	全国標準監視地点	春日部市役所	2.6	2.0	0.064	11	(0.003)	0.12	3.4	2.5	51	0.13	2.4	6.1	1.3	32
			2.1	1.4	0.064	9.2	(0.004)	0.081	2.9	2.1	45	0.13	2.3	5.1	1.2	27
	全国標準監視地点	環境科学国際C測定局	2.2	2.2	0.057	11	(0.003)	0.088	2.7	1.6	37	0.11	2.1	5.2	1.2	27
			1.9	1.5	0.061	12	(0.004)	0.085	2.5	1.7	38	0.13	2.6	7.0	1.0	25
	全国標準監視地点	草加市花栗自排測定局	2.5	2.1	0.063	9.4	(0.003)	0.16	2.8	2.9	63	0.12	2.3	9.5	1.5	35
			1.9	1.5	0.062	12	(0.004)	0.12	2.3	2.7	54	0.12	2.8	6.4	1.3	42
	全国標準監視地点	戸田美女木自排測定局	2.2	2.0	0.056	14	(0.003)	0.10	2.7	4.0	84	0.13	2.5	12	1.8	43
			1.9	1.4	0.052	19	(0.004)	0.10	2.7	4.8	78	0.11	3.7	12	2.0	44
さいたま市	全国標準監視地点	さいたま市役所測定局	3.0	1.5	0.081	11	0.020	0.10	2.6	3.7	59	0.15	1.1	17	1.9	
			2.4	1.4	0.070	8.1	0.055	0.097	2.3	2.9	49	0.14	0.95	13	2.0	
	全国標準監視地点	三橋自排測定局	2.7	1.6	0.084	9.5	0.020	0.12	2.4	4.6	71	0.16	1.4	18	2.2	
			2.2	1.4	0.075	8.4	0.060	0.094	2.1	3.3	69	0.14	1.3	24	1.9	
	地域特設監視地点	大宮区役所		1.6		7.9	0.019			4.5	62	0.15	1.2	9.8	1.9	
				1.4		7.7	0.060			3.2	57	0.14	0.92	15	1.7	
	地域特設監視地点	健康科学研究センター	2.9	1.5	0.083	8.0	0.022	0.10	2.4	3.7	56	0.15	1.1	26	1.9	
			2.1	1.4	0.066	8.5	0.060	0.088	2.0	3.7	54	0.14	1.0	25	2.0	
	地域特設監視地点	指扇測定局		1.6		8.2							1.2			
	地域特設監視地点	岩槻測定局		1.4		11							1.4			
				1.5		15							1.2			
	地域特設監視地点	曲本自排測定局	3.3			36		0.10	2.8				1.7			
			2.4			37		0.11	2.9				1.8			
	地域特設監視地点	大和田自排測定局	3.0		0.083	8.7		0.14	2.7				1.3			
			1.9		0.077	9.7		0.10	1.8				1.4			

上段は令和5年度、下段は令和4年度の値

は、測定未実施

(注) 検出下限値未満のデータが存在する場合には、原則として、当該検出下限値に1/2を乗じた値を用いて年平均濃度を算出した。
 全検体が検出下限値未満であった等の理由により、年平均濃度が検出下限値を下回る場合には、年平均濃度を括弧書きで表示した。

表 I - 7 各物質の地点別年平均濃度④

測定主体	地点区分	測定地点の名称	指針値設定物質		その他の優先取組物質						優先取組物質以外の物質					その他
			アセト アルデヒド	塩化 メチル	酸化 エチレン	トルエン	ペリリウム 及び その 化合物	ベンゾ [a] ピレン	ホルム アルデヒド	クロム及び その 化合物	亜鉛 及び その 化合物	カドミウム 及び その 化合物	キリン類	鉛及び その 化合物	バナジウム 及び その 化合物	
			μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³	ng/m ³	ng/m ³	μg/m ³
川越市	全国標準監視地点	川越測定局	2.9	1.3	0.066	7.4	0.011	0.097	3.0	4.6			1.2			
			3.0	1.3	0.044	8.7	0.016	0.11	2.6	7.1			2.0			
	全国標準監視地点	高階測定局	2.7	1.3	0.064	6.8	0.012	0.12	2.8	1.7			1.3			
			2.7	1.3	0.049	7.8	0.020	0.10	2.2	2.7			2.1			
	地域特設監視地点	仙波測定局	2.8			7.0		0.092	3.0				1.3			
			3.0			8.6		0.092	2.3				2.3			
川口市	全国標準監視地点	南平測定局	3.3	1.3	0.090	31	0.018	0.15	2.9	5.8						
			2.3	1.3	0.081	28	0.017	0.088	2.5	6.5						
	地域特設監視地点	芝測定局	3.6	1.4	0.087	6.9	0.033	0.13	4.2	4.2						
			2.4	1.4	0.071	7.1	0.044	0.059	2.7	3.3						
	地域特設監視地点	石神配水場	3.4				0.018	0.13	2.8	3.4						
			2.1				0.021	0.075	2.4	4.7						
	地域特設監視地点	神根測定局	3.6			8.1		0.18	3.1							
			2.8			8.5		0.099	2.8							
所沢市	全国標準監視地点	北野測定局	2.6	1.2	0.067	6.9	0.0070	0.077	2.7	1.2	22	0.07	1.3	3.1	0.91	
			2.8	1.2	0.044	6.8	0.014	0.079	2.9	1.9	34	0.12	1.7	5.2	1.4	
	地域特設監視地点	和ヶ原測定局	2.8			8.2		0.094	2.9				1.4			
			3.0			7.9		0.088	3.0				2.2			
越谷市	全国標準監視地点	東越谷測定局	2.9	1.6	0.076	8.0	0.0045	0.17	3.4	13			1.1			
			2.3	1.5	0.079	9.1	0.0040	0.11	2.5	7.2			1.3			

上段は令和5年度、下段は令和4年度の値

は、測定未実施

表 I - 8 環境基準達成率の推移

	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
ベンゼン	17.4% (4/23)	43.5% (10/23)	73.9% (17/23)	70.8% (17/24)	95.8% (23/24)	95.8% (23/24)	100% (24/24)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (26/26)	100% (26/26)
トリクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
テトラクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
ジクロロメタン	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (18/18)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (21/21)	100% (21/21)
(つづき)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
ベンゼン	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (25/25)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (24/24)	100% (22/22)
トリクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
テトラクロロエチレン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
ジクロロメタン	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (20/20)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (18/18)
(つづき)	R4	R5	上段：環境基準達成率 下段：（達成地点数／測定地点数） ジクロロメタンの平成１０年～１２年の 数値は、平成１３年４月に設定された環境 基準と比較した場合の参考値									
ベンゼン	100% (23/23)	100% (23/23)										
トリクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)										
テトラクロロエチレン	100% (18/18)	100% (18/18)										
ジクロロメタン	100% (18/18)	100% (18/18)										

表 I - 9 国内外の環境基準、指針値等

物 質 名	基準値等 (※ 評価は、年平均値との比較で行う。)			
	環境基準 (※ 1)	指針値 (※ 2)	E P A (※ 3)	WHO (※ 4)
ベンゼン	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	1.3~4.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
トリクロロエチレン	130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
テトラクロロエチレン	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	40 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	250 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ジクロロメタン	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—	3000 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
アクリロニトリル	—	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化ビニルモノマー	—	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
塩化メチル	—	94 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—	—
クロロホルム	—	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
1,2-ジクロロエタン	—	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	700 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
1,3-ブタジエン	—	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
アセトアルデヒド	—	120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	—
ホルムアルデヒド	—	—	0.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
ベンゾ[a]ピレン	—	—	—	0.12 ng/m^3
水銀及びその化合物	—	40 ng/m^3	—	1000 ng/m^3
ニッケル化合物	—	25 ng/m^3	40 ng/m^3	25 ng/m^3
ヒ素及びその化合物	—	6 ng/m^3	2 ng/m^3	6.6 ng/m^3
ベリリウム及びその化合物	—	—	4 ng/m^3	—
マンガン及びその化合物	—	140 ng/m^3	—	0.15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
六価クロム化合物	—	—	0.8 ng/m^3	0.25 ng/m^3

※ 1 人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準
(環境基本法第 16 条第 1 項)

※ 2 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値
(中央環境審議会「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について (第 7・8・9・10・11・12 次答申)」)

※ 3 E P A (米国環境保護庁) が設定したユニットリスクに基づく 10^{-5} リスクレベル換算値
(E P A ホームページ Integrated Risk Information System (IRIS))

※ 4 WHO (世界保健機関) 欧州地域事務局のガイドライン値あるいは 10^{-5} リスクレベル換算値
(Air Quality Guidelines for Europe Second Edition(2000))

ジクロロメタン及び 1,2-ジクロロエタンは一日平均値で評価

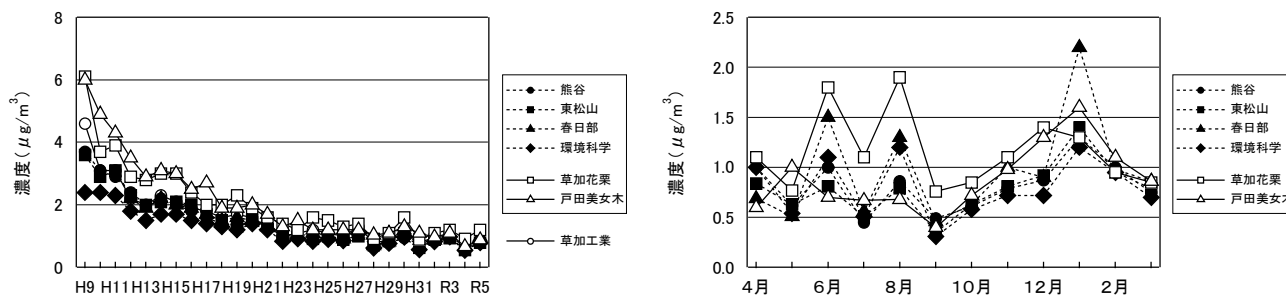
ホルムアルデヒドは 30 分平均値で評価

(参考：県実施調査の詳細)

以下、県が測定を行っている物質ごとの経年変化及び経月変化をグラフで示し、調査結果を概説する。同類の物質は類似した変動を示すことが多いため、分類ごとに示す。令和3年度から秩父と草加工業での測定は廃止されたが、参考値として経年変化のグラフに掲載する。

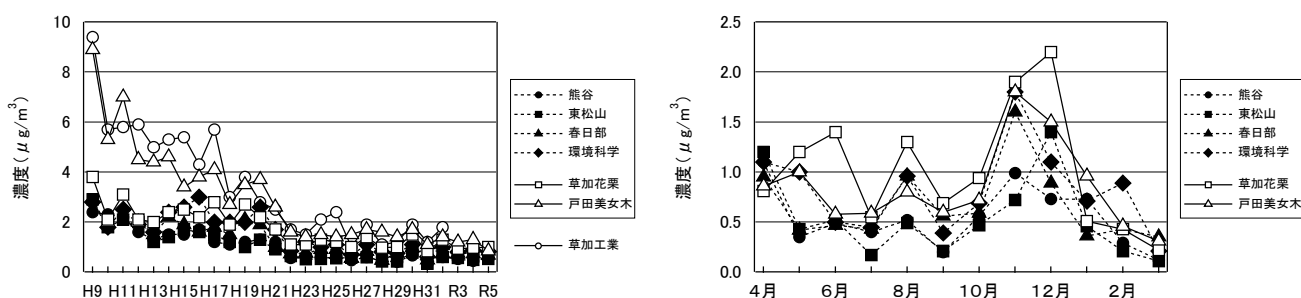
揮発性有機化合物（VOCs）

(1) ベンゼン



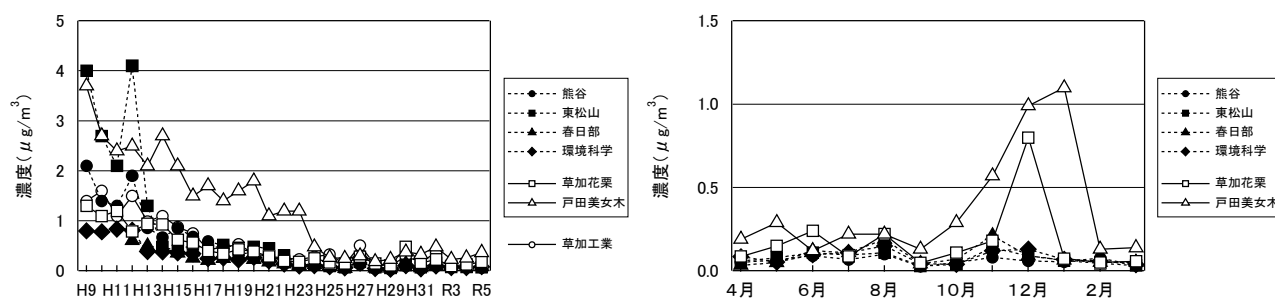
全ての地点で環境基準($3 \mu\text{g}/\text{m}^3$)を下回る濃度であった。長期的に続いていた濃度の低下傾向が、近年は鈍化し、ほぼ横ばいで推移している。平成15年度までは環境基準値付近で変動していた沿道2地点においても、現在は一般環境に近い濃度となっている。ベンゼンは自動車排出ガスが主な発生源と考えられ、長期的な低下傾向は燃料対策等の効果が表れた結果と考えられる。令和5年度は令和4年度と比べると、全ての地点で濃度が上昇した。月変化では、多くの地点で5月、7月、9月に低濃度が、また6月、8月、1月に高濃度が見られるなど、年間を通じて類似した濃度変動が見られた。

(2) トリクロロエチレン



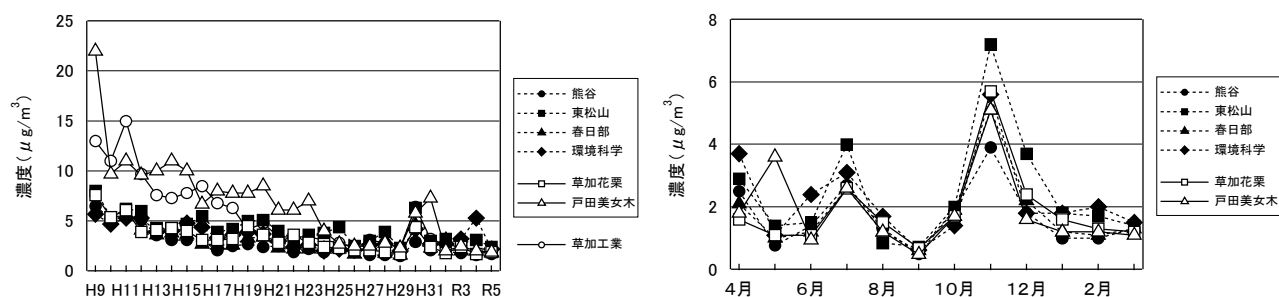
全ての地点で環境基準($130 \mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/70前後か、それを下回る濃度であった。長期的な濃度の低下傾向は、平成21年度から鈍化し、近年はほぼ横ばいで推移している。令和5年度は令和4年度と比べると、戸田美女木で濃度が低下した以外は、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化では、ややばらつきがあるものの、多くの地点で7月、9月、1月と2月に低濃度、11月または12月に高濃度が見られたほか、すべての地点で3月に最小値が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(3) テトラクロロエチレン



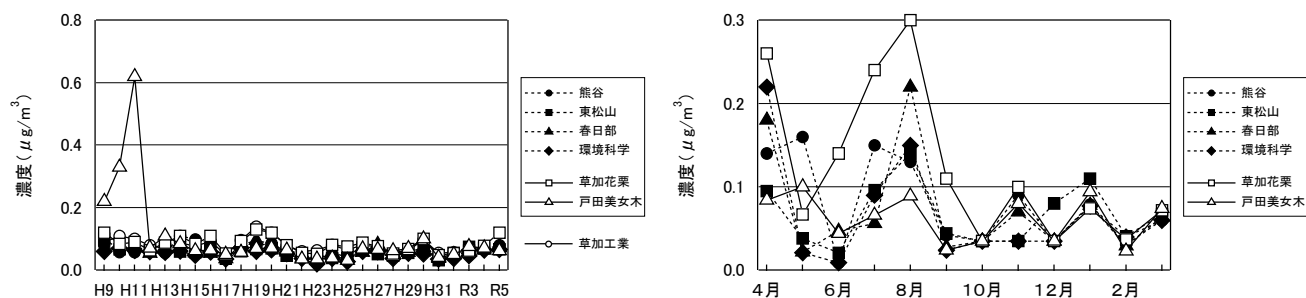
全ての地点で環境基準($200 \mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/180 前後か、それを下回る濃度であった。かつて高濃度であった東松山で平成14年度に、同様に高濃度であった戸田美女木で平成24年度に他地点と同程度まで低下して以降、濃度は横ばいないしは微増傾向で推移している。令和5年度は令和4年度と比べると、草加花栗や戸田美女木で濃度がやや上昇したが、それ以外の地点では濃度は横ばいであった。月変化を見ると、草加花栗において12月に、また戸田美女木において11月から1月にかけて高濃度となった以外は、全ての地点でほぼ同様の濃度変動を示した。

(4) ジクロロメタン



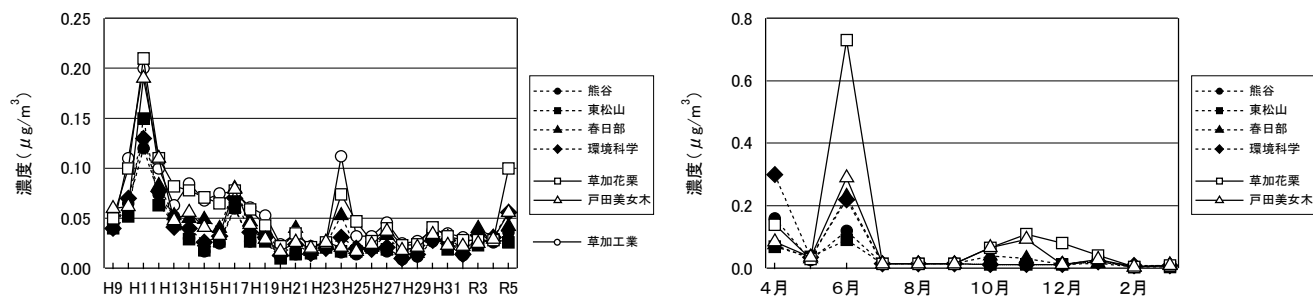
全ての地点で環境基準($150 \mu\text{g}/\text{m}^3$)の1/20 前後か、それを下回る濃度であった。平成30年度、令和元年度と、一時的な濃度の上昇により、長期的に続いていた濃度の低下傾向が途絶えた地点も見られたが、令和2年度以降はそれ以前の状況まで戻っている。令和5年度は令和4年度と比べると、環境科学で濃度の低下が見られた以外は、全ての地点で濃度はほぼ横ばいであった。月変化を見ると、全ての地点で9月に最小値、11月に最大値が見られるなど、おおむね全ての地点で類似した濃度変動が見られた。

(5) アクリロニトリル



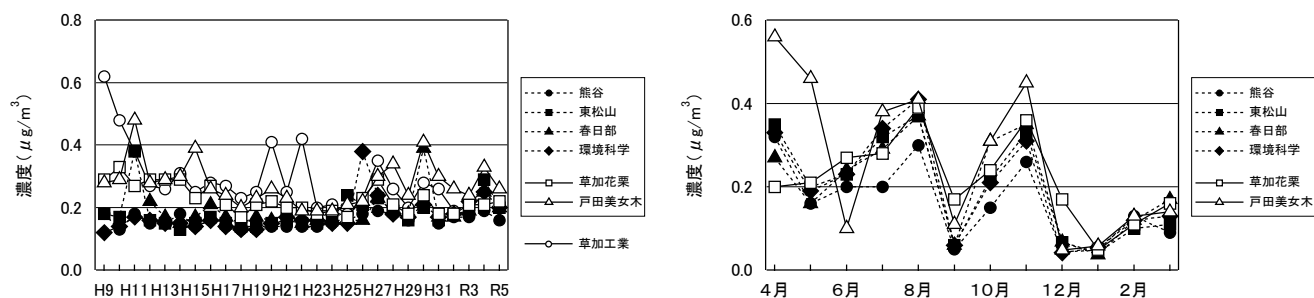
全ての地点で指針値 ($2 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の 1/7 前後か、それを下回る濃度であった。平成 12 年度から濃度は全ての地点ではば横ばい傾向が続いており、令和 5 年度も全ての地点で同様であった。月変化では、地点間のばらつきが大きい月も見られるが、多くの地点で 5 月、6 月を除いた上半期は高濃度、下半期は低濃度で推移するなど、類似した濃度変動が見られた。

(6) 塩化ビニルモノマー



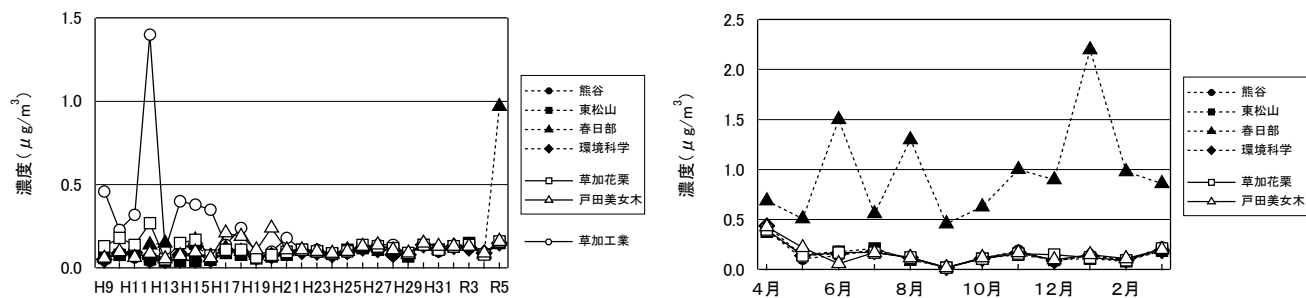
全ての地点で指針値 ($10 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の 1/15 前後か、それを下回る濃度であった。濃度は平成 11 年度まで上昇し、それ以降は長期的に低下傾向が続いていたが、近年は増減を繰り返している。令和 5 年度は令和 4 年度と比べると、濃度が横ばいであった東松山を除くと、全ての地点で濃度が上昇した。月変化では、地点間のばらつきは小さく、多くの地点で 4 月と 6 月に高濃度、その他の月には低濃度で推移するなど、同様の濃度変動が見られた。

(7) クロロホルム



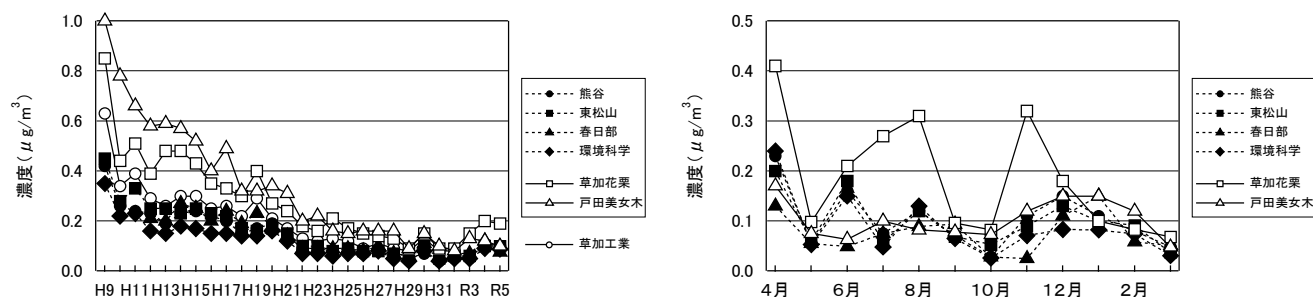
全ての地点で指針値 ($18 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/30$ 前後か、それを下回る濃度であった。年度によって、地点間のばらつきが大きく、濃度は平成 21 年度頃から増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移している。令和 5 年度は令和 4 年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいないしはやや低下した。月変化では、地点間のばらつきは比較的小さく、全ての地点で 9 月と 12 月から 3 月にかけて低濃度、また 4 月、7 月、8 月、11 月に高濃度が見られるなど、おおむね全ての地点で同様の濃度変動を示した。

(8) 1,2-ジクロロエタン



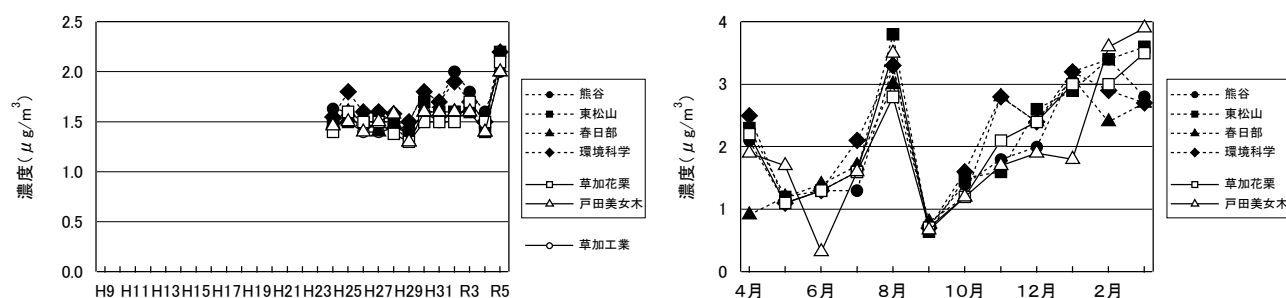
春日部において 1 月に指針値 ($1.6 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を上回った以外は、それを下回る濃度であった。しばしば他の地点と比べて高濃度であった草加工業で平成 17 年度に濃度が低下して以降、ほぼ横ばいで推移しており、地点間の濃度差もほとんど見られない。令和 5 年度については、春日部では令和 4 年度よりも濃度が大幅に上昇した。この周辺には発生源と思われる施設や活動が見られず、年平均値が上昇した原因は今のところ不明である。一方、それ以外の地点では小幅な濃度の上昇にとどまった。月変化では、高濃度かつばらつきの大きい春日部では 6 月、8 月、1 月に高濃度が見られたが、それ以外の地点では濃度差は比較的小さく、濃度変動もほぼ同様であった。

(9) 1,3-ブタジエン



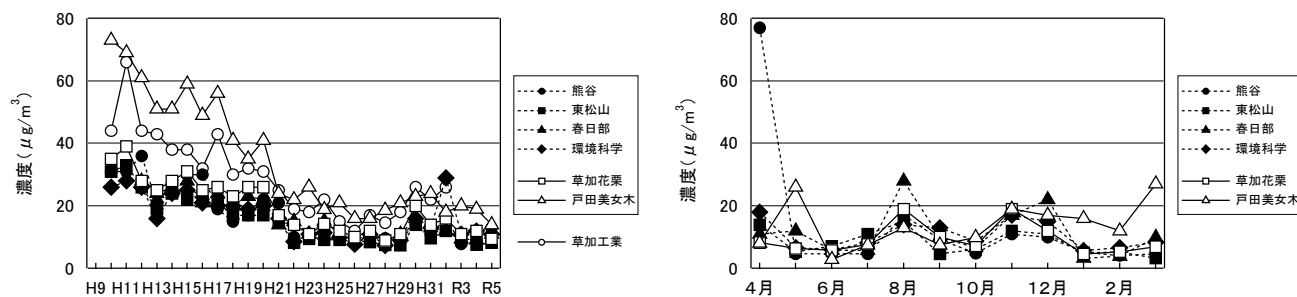
全ての地点で指針値 ($2.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/6$ 前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、濃度の低下傾向が続いてきたが、近年はほぼ横ばいで推移している。この物質もベンゼン同様、自動車排出ガスが主な発生源とされ、沿道ではやや高濃度傾向が見られる。令和5年度は令和4年度と比べると、やや濃度が低下した春日部を除き、全地点で横ばいであった。月変化では、他の地点に比べて高濃度かつばらつきが大きい草加花栗も含め、5月、9月、10月、3月に比較的低濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

(10) 塩化メチル



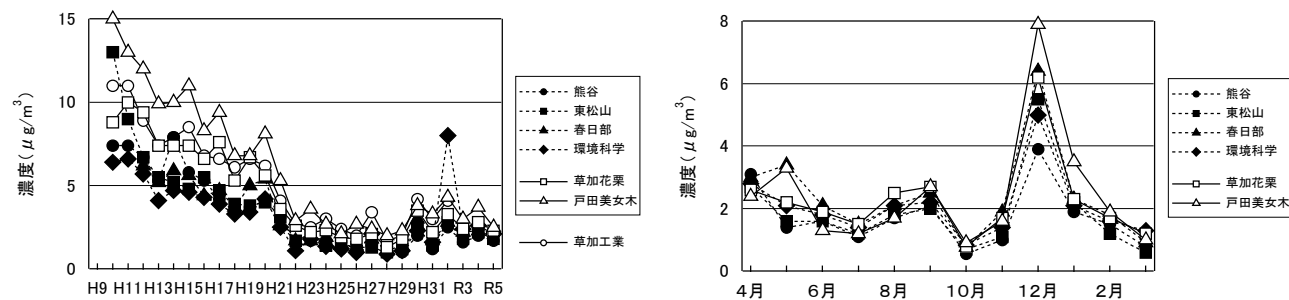
全ての地点で指針値 ($94 \mu\text{g}/\text{m}^3$) の $1/25$ 前後か、それを下回る濃度であった。調査開始以来、全ての地点において、年平均で $1.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 前後で推移しており、地点間の濃度差はそれほど大きくない。令和5年度は令和4年度と比べると、全ての地点で濃度が上昇した。月変化では、全ての地点で8月に上昇、9月に低下が見られるなど、基本的な濃度変動の推移はほぼ同様であった。

(11) トルエン



平成26年度を境に、長期的な濃度の低下傾向が微増傾向に転じている。調査開始以来、戸田美女木と草加工業が他の地点と比べて高濃度で推移しているが、令和2年度は環境科学で庁舎修繕による溶剤使用の影響と考えられる高濃度が見られたが、令和3年度には以前の状況まで戻っている。令和5年度は令和4年度と比べると、やや濃度が低下した草加花栗や戸田美女木を除き、全ての地点で濃度は横ばいであった。月変化を見ると、ややばらつきは見られるが、全ての地点で6月、7月、9月、10月に低濃度、4月、8月、11月、12月に高濃度が見られるなど、類似した濃度変動が見られた。

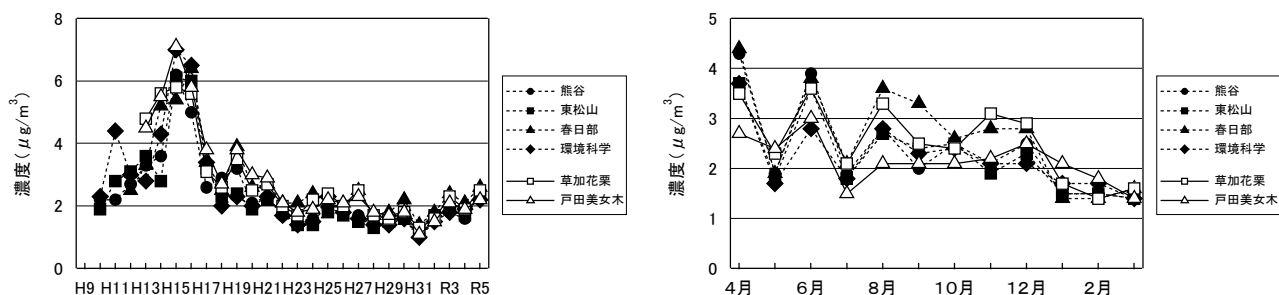
(12) キシレン類



調査開始以来続いてきた長期的な濃度の低下傾向は、平成28年度を境に、上昇に転じている。近年は、沿道2地点が一般環境よりもやや高めに推移している。令和2年度にはトルエン同様、環境科学で庁舎修繕の影響と考えられる高濃度が見られたが、令和3年度には以前の状況まで戻っている。令和5年度は令和4年度と比べると、全ての地点で濃度は横ばいしないしは低下した。月変化を見ると、ややばらつきは見られるが、12月に最大値、10月または3月に最小値が見られるなど、おおむね全ての地点で同様の濃度変動が見られた。

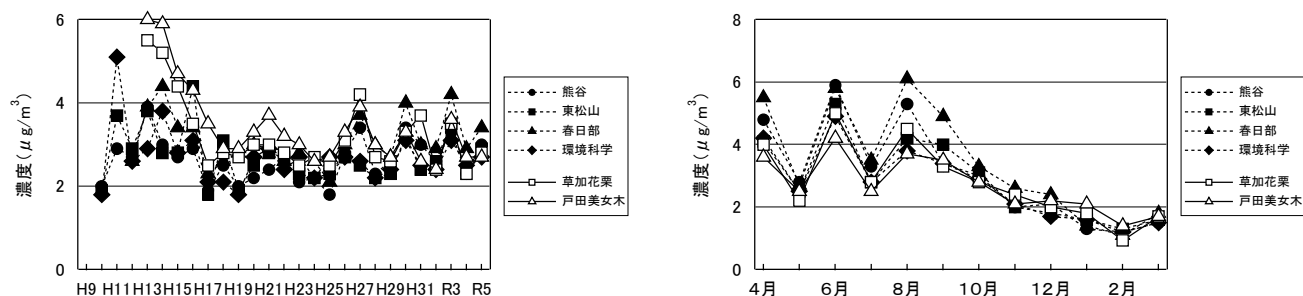
アルデヒド類

(13) アセトアルデヒド



全ての地点で指針値 ($120 \mu\text{g}/\text{m}^3$) 及びEPAリスク換算値 ($5 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を下回っていた。平成15年度以降、濃度は低下傾向を示したのち、現在は横ばい傾向を示している。令和5年度は令和4年度と比べると、全6地点で濃度は上昇した。月変化では、草加花栗、戸田美女木は6月、その他の地点は4月に最大濃度となり、春日部、草加花栗は2月、その他の地点は3月に最小濃度となった。

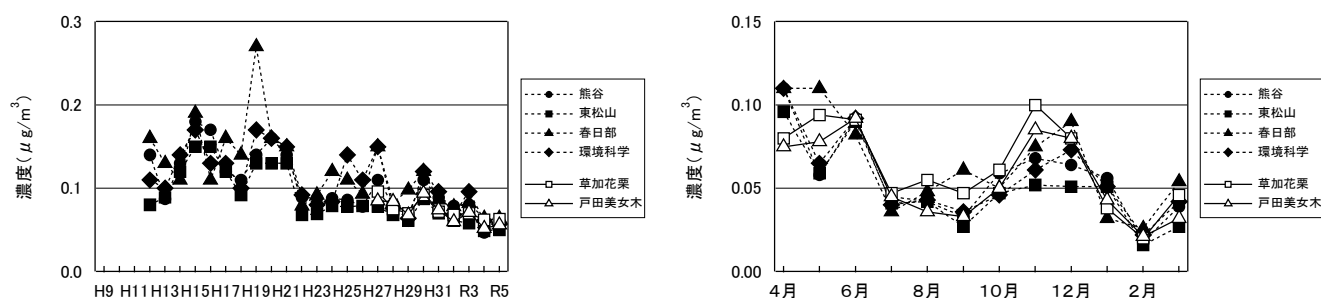
(14) ホルムアルデヒド



全ての地点でEPAリスク換算値 ($0.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$) を超え、測定値はその1.2～7.6倍の範囲にある。平成17年度頃までは濃度は低下傾向で推移し、特に沿道の草加花栗と戸田美女木ではそれが顕著であった。その後、濃度は横ばいまたは微増傾向を示している。令和5年度は令和4年度と比べると、戸田美女木を除く5地点で上昇した。月変化では、春日部は8月、その他の地点は6月に最大濃度となり、全ての地点で2月に最小濃度となった。

酸化エチレン

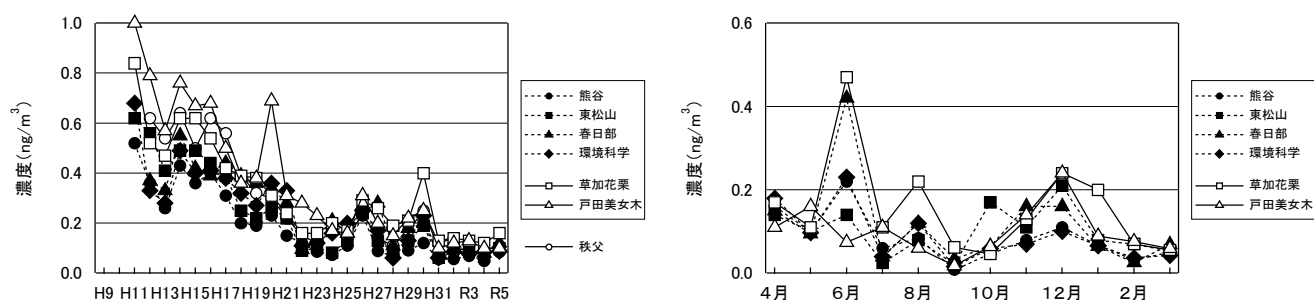
(15) 酸化エチレン



平成22年度以降、全体的に低濃度で推移しており、平成27年度から調査地点に加わった沿道の2地点でも同様の傾向が見られた。令和5年度は全ての地点で令和4年度とほぼ横ばいであった。月変化では、戸田美女木は6月、草加花栗は10月、その他の地点は4月に最高濃度となり、全ての地点で2月に最小濃度となった。

ベンゾ[a]ピレン

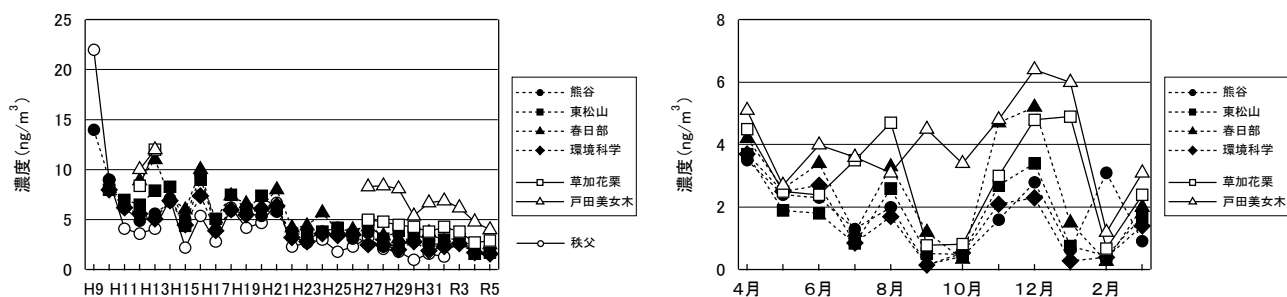
(16) ベンゾ[a]ピレン



各地点の年平均値をWHOガイドライン値 (0.12 ng/m^3) と比べると、草加花栗においてガイドライン値をやや上回り、春日部においてガイドライン値と同じ値であったが、他の地点は下回った。令和5年度は令和4年度と比べると、環境科学と戸田美女木ではほぼ同じだったが、他の地点は若干上昇した。ただ、経年変化全体で見れば低い濃度レベルである。月変化を見ると、6月に濃度が高い地点がみられ、また、12月に濃度がやや高い地点が多かった。

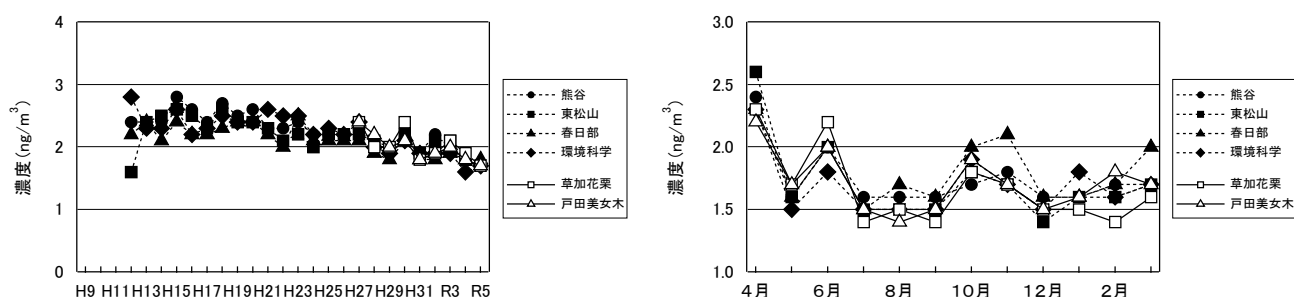
重金属類

(17) クロム及びその化合物



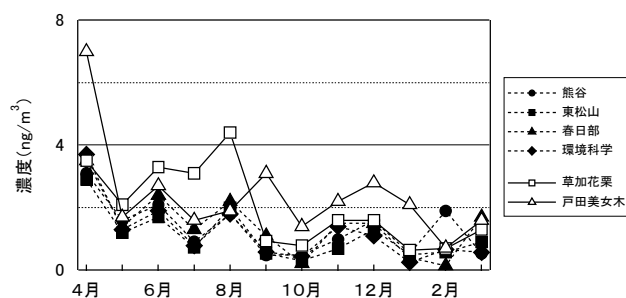
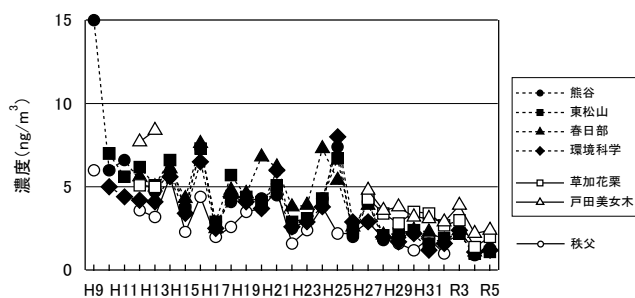
令和4年度と比較すると戸田美女木で低下し、その他の地点ではほぼ変化がなかった。沿道の2地点は一般環境と比べて濃度が高い傾向で、特に戸田美女木の濃度が高かった。月変化では、一般環境においては同様の変動が見られ、4月に比較的高濃度であった。一方で、沿道2地点では一般環境とは異なる変動が見られ、12月、1月に上昇があった。また、草加花栗では8月も上昇があった。

(18) 水銀及びその化合物



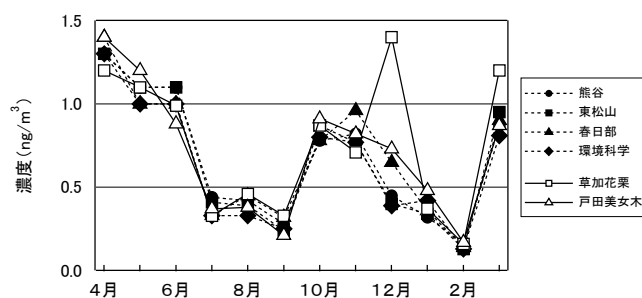
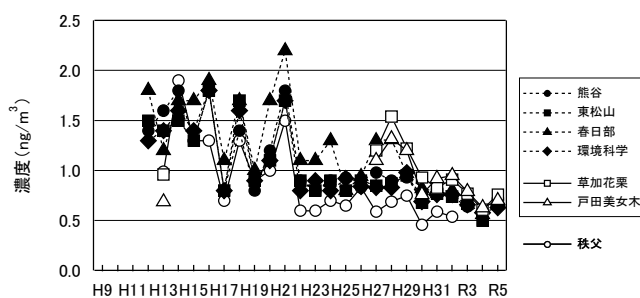
全ての地点で指針値 (40 ng/m³) の 1/20 を下回る濃度であった。令和4年度と比べると春日部で横ばい、環境科学で増加したほかは低下した。一般環境と沿道で差は見られず、春日部が最大、その他は同じ濃度であった。最大値は4月の東松山であったが、4月は全ての地点で濃度が最も高かった。全体的に濃度変動は類似しており、地点間の濃度差も小さかった。

(19) ニッケル化合物



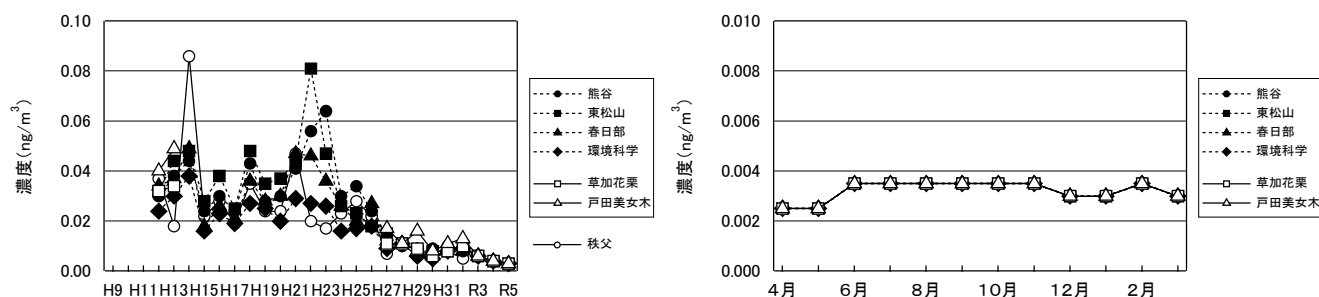
全ての地点で指針値（25 ng/m³）の 1/10 以下の濃度であった。令和 4 年度と比べて、全ての地点でわずかに濃度が上昇した。一般環境と比べて沿道が高い傾向が見られ、戸田美女木が最大であった。月変化では 4 月に戸田美女木で最大値が見られ、草加花栗では 8 月の濃度が比較的高かった。一般環境の濃度変動は類似しており、4 月に全体的に濃度が高かった。

(20) ヒ素及びその化合物



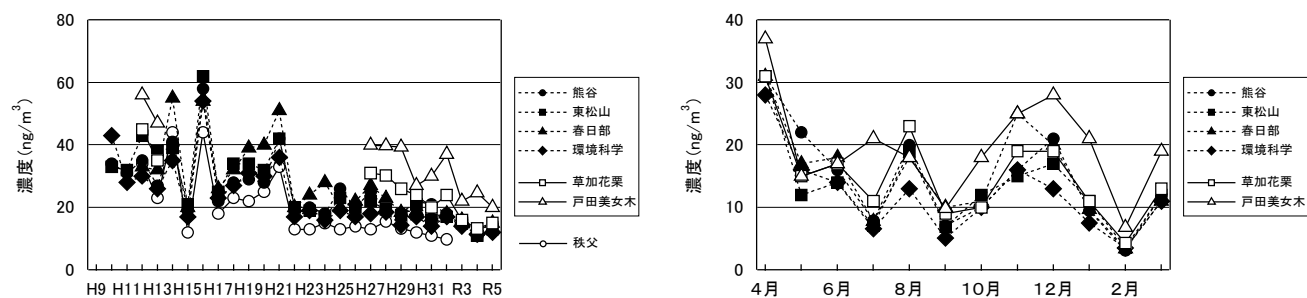
全ての地点で指針値（6 ng/m³）の 1/7 以下の濃度であった。令和 4 年度と比較すると、全ての地点でわずかに濃度が上昇した。一般環境と沿道の濃度差はないが、わずかに沿道の方が高かった。月変化では、地点間の濃度変動は類似しており、夏に低く、春に高い傾向が見られた。ただし、1 2 月の草加花栗は他地点と異なり濃度が上昇した。

(21) ベリリウム及びその化合物



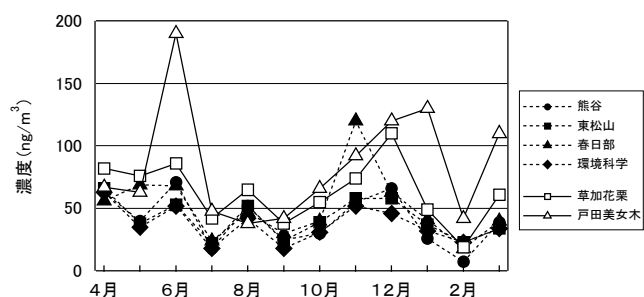
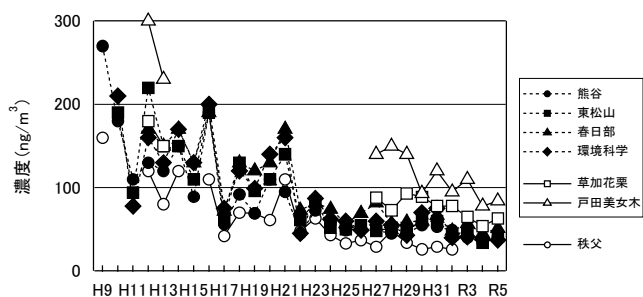
全ての地点でEPAリスク換算値(4 ng/m³)の1/1000以下の濃度であった。令和5年度は、全ての地点の月別濃度が検出下限値未満であったため、濃度の増減については評価できない。同じ理由により、地点間の濃度差が見られなかった。

(22) マンガン及びその化合物



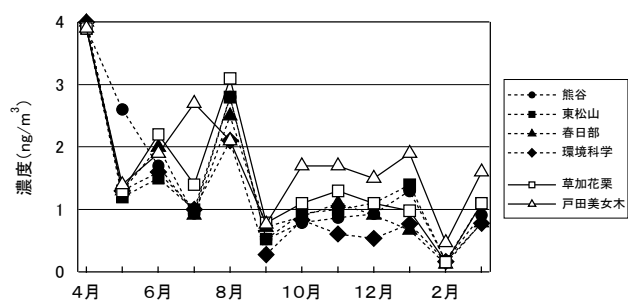
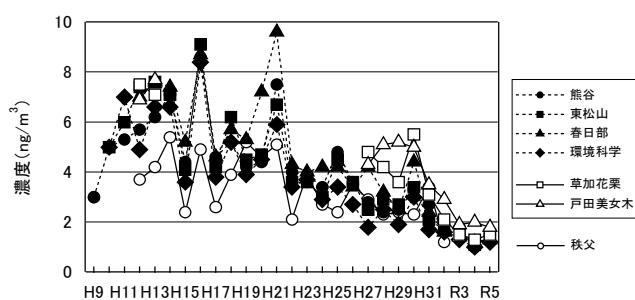
全ての地点で指針値(140 ng/m³)の1/7以下の濃度であった。令和4年度と比べると、戸田美女木で減少し、他の地点ではわずかに上昇した。月変化では戸田美女木の濃度が比較的高く、4月に最大値が見られた。また、全地点の月変化は類似していた。

(23) 亜鉛及びその化合物



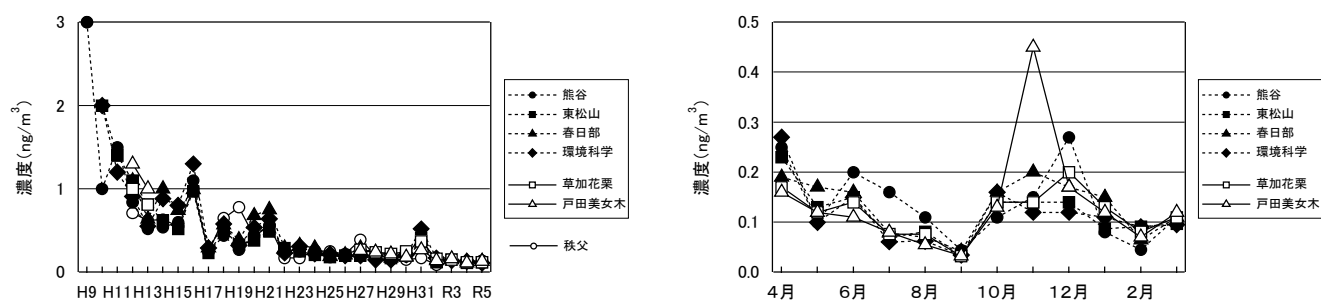
令和4年度と比べると、環境科学以外で濃度がわずかに上昇した。一般環境と比べて沿道の2地点は濃度が高い傾向が見られた。月変化では6月に戸田美女木で濃度上昇が見られた。沿道2地点と比較すると、一般環境での濃度変動は類似していたが、11月は春日部でのみ濃度上昇が見られた。

(24) バナジウム及びその化合物



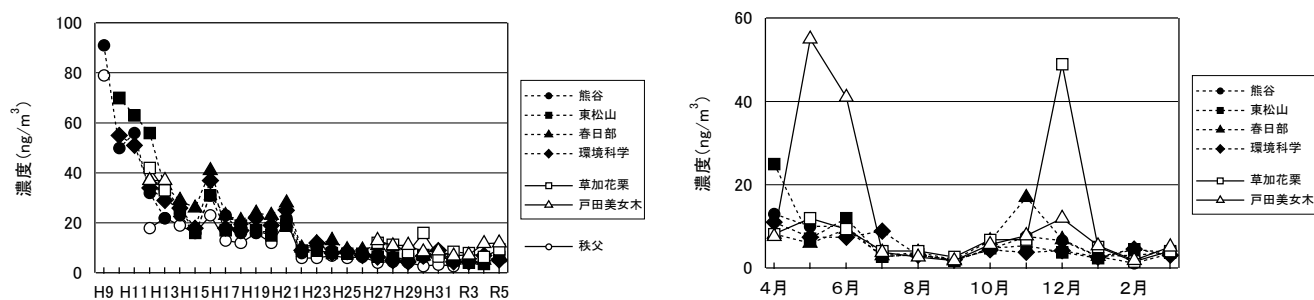
令和4年度と比べると、戸田美女木を除いた全ての地点で濃度がわずかに上昇した。月変化は全体的に類似しており、4月に全地点で最大濃度が見られた。7月の戸田美女木のみ他地点と異なる濃度上昇が見られた。

(25) カドミウム及びその化合物



令和4年度と比べると、ほぼ同程度であった。年平均値の地点差はほとんどなく、沿道と一般環境の濃度差はほとんどなかった。各地点の月変化は類似していたが、11月に戸田美女木で他地点と異なる濃度上昇が見られた。

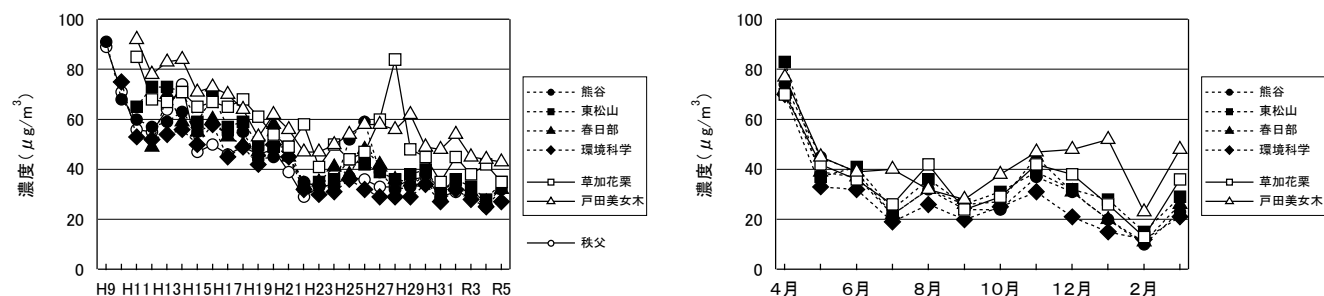
(26) 鉛及びその化合物



令和4年度の濃度と比べると、環境科学で低下し、それ以外はわずかに上昇した。一般環境と比べると沿道の2地点で高い傾向が見られた。月変化では、5月、6月に戸田美女木、12月に草加花栗で濃度上昇が見られた。その他の地点についてはほぼ同様の変動であった。

浮遊粉じん

(27) 浮遊粉じん



調査開始以来の低下傾向から、平成23年度以降はわずかに上昇傾向を示していたが、平成27年度から平成28年度は再び低下傾向を示す地点が多くなった。その後は小さな上昇と低下を繰り返しながら、全般的には横ばい傾向となっている。令和5年度は令和4年度に比べて全般に若干上昇した。月変化では、各地点の濃度変動は概ね類似しているが、沿道である戸田美女木及び草加花栗が相対的に高い傾向を示した。

表 I-10 有害大気汚染物質の調査結果（県調査地点）

(1) ベンゼン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.0	0.84	0.69	1.0	1.1	0.60
5月	0.62	0.63	0.51	0.54	0.77	1.0
6月	1.0	0.81	1.5	1.1	1.8	0.70
7月	0.45	0.51	0.56	0.51	1.1	0.67
8月	0.86	0.79	1.3	1.2	1.9	0.68
9月	0.49	0.35	0.46	0.31	0.76	0.40
10月	0.61	0.63	0.63	0.58	0.85	0.72
11月	0.79	0.81	1.0	0.72	1.1	0.98
12月	0.87	0.92	0.90	0.72	1.4	1.3
1月	1.3	1.4	2.2	1.2	1.3	1.6
2月	1.0	0.95	0.98	0.95	0.95	1.1
3月	0.75	0.79	0.86	0.70	0.85	0.86
最大値	1.3	1.4	2.2	1.2	1.9	1.6
最小値	0.45	0.35	0.46	0.31	0.76	0.40
平均値	0.81	0.79	0.97	0.79	1.2	0.88

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(2) トリクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.1	1.2	0.95	1.1	0.81	0.86
5月	0.35	0.43	0.42	1.0	1.2	1.0
6月	0.49	0.52	0.47	0.50	1.4	0.58
7月	0.40	0.17	0.43	0.45	0.55	0.59
8月	0.52	0.49	0.96	0.96	1.3	0.80
9月	0.20	0.21	0.56	0.39	0.69	0.60
10月	0.56	0.47	0.59	0.69	0.94	0.72
11月	0.99	0.72	1.6	1.8	1.9	1.8
12月	0.73	1.4	0.89	1.1	2.2	1.5
1月	0.73	0.46	0.36	0.71	0.51	0.96
2月	0.29	0.21	0.43	0.89	0.43	0.46
3月	0.12	0.11	0.35	0.21	0.22	0.31
最大値	1.1	1.4	1.6	1.8	2.2	1.8
最小値	0.12	0.11	0.35	0.21	0.22	0.31
平均値	0.54	0.53	0.67	0.82	1.0	0.85

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(3) テトラクロロエチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.051 *	0.059 *	0.034 *	0.085	0.087	0.19
5月	0.066 *	0.078	0.051 *	0.053 *	0.15	0.29
6月	0.092	0.11	0.12	0.098	0.24	0.12
7月	0.067 *	0.095	0.11	0.11	0.087 *	0.22
8月	0.10	0.11	0.19	0.15	0.22	0.22
9月	0.027 *	0.029 *	0.043 *	0.042 *	0.048 *	0.13
10月	0.05 *	0.04 *	0.07 *	0.04 *	0.11	0.29
11月	0.08 *	0.14	0.21	0.12	0.18	0.57
12月	0.06 *	0.09 *	0.09 *	0.13	0.80	0.99
1月	0.054	0.063	0.065	0.068	0.073	1.1
2月	0.077	0.045	0.052	0.059	0.051	0.13
3月	0.034	0.033	0.052	0.038	0.058	0.14
最大値	0.10	0.14	0.21	0.15	0.80	1.1
最小値	0.027	0.029	0.034	0.038	0.048	0.12
平均値	0.063	0.074	0.091	0.083	0.18	0.37

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(4) ジクロロメタン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.5	2.9	2.1	3.7	1.6	1.8
5月	0.77	1.4	1.0	1.1	1.1	3.6
6月	1.4	1.5	1.2	2.4	1.1	0.94
7月	2.7	4.0	2.6	3.1	2.6	2.6
8月	1.3	0.85	1.2	1.7	1.5	1.2
9月	0.50	0.72	0.61	0.62	0.68	0.48
10月	1.9	2.0	1.9	1.4	1.7	1.7
11月	3.9	7.2	5.1	5.6	5.7	5.1
12月	1.8	3.7	2.2	1.8	2.4	1.6
1月	1.0	1.8	1.2	1.8	1.6	1.2
2月	1.0	1.7	1.1	2.0	1.3	1.2
3月	1.3	1.4	1.3	1.5	1.2	1.1
最大値	3.9	7.2	5.1	5.6	5.7	5.1
最小値	0.50	0.72	0.61	0.62	0.68	0.48
平均値	1.7	2.4	1.8	2.2	1.9	1.9

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(5) アクリロニトリル

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.14	0.095	0.18	0.22	0.26	0.084
5月	0.16	0.038 *	0.022 *	0.021 *	0.067	0.10
6月	0.009 ND	0.021 *	0.047 *	0.009 ND	0.14	0.044 *
7月	0.15	0.096	0.056 *	0.090	0.24	0.066
8月	0.13	0.14	0.22	0.15	0.30	0.089
9月	0.042 *	0.044 *	0.028 *	0.024 *	0.11	0.024 *
10月	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND
11月	0.09 *	0.035 ND	0.07 *	0.035 ND	0.10 *	0.08 *
12月	0.035 ND	0.08 *	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND	0.035 ND
1月	0.079	0.11	0.078	0.077	0.074	0.094
2月	0.031	0.041	0.029	0.040	0.037	0.023 *
3月	0.060	0.067	0.064	0.060	0.072	0.074
最大値	0.16	0.14	0.22	0.22	0.30	0.10
最小値	<0.018	0.021	0.022	<0.018	0.037	0.023
平均値	0.080	0.067	0.072	0.066	0.12	0.062

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(6) 塩化ビニルモノマー

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.16	0.069 *	0.076	0.30	0.14	0.085
5月	0.026 *	0.037 *	0.031 *	0.036 *	0.030 *	0.036 *
6月	0.12	0.091	0.23	0.22	0.73	0.29
7月	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND
8月	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND
9月	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND	0.015 ND
10月	0.012 ND	0.012 ND	0.040 *	0.012 ND	0.066 *	0.066 *
11月	0.012 ND	0.012 ND	0.032 *	0.012 ND	0.11	0.093
12月	0.012 ND	0.012 ND	0.012 ND	0.012 ND	0.081	0.012 ND
1月	0.027 *	0.022 *	0.017 *	0.021 *	0.041	0.028 *
2月	0.0045 ND	0.0045 ND	0.0045 ND	0.009 *	0.0045 ND	0.0045 ND
3月	0.011 *	0.0045 ND	0.011 *	0.009 *	0.009 *	0.009 *
最大値	0.16	0.091	0.23	0.30	0.73	0.29
最小値	<0.009	<0.009	<0.009	0.009	<0.009	<0.009
平均値	0.036	0.026	0.042	0.056	0.10	0.056

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(7) クロロホルム (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.32	0.35	0.27	0.33	0.20	0.56
5月	0.16	0.20	0.16	0.19	0.21	0.46
6月	0.20	0.23	0.24	0.23	0.27	0.10 *
7月	0.20	0.32	0.29	0.34	0.28	0.38
8月	0.30	0.37	0.37	0.41	0.39	0.41
9月	0.05 *	0.06 *	0.06 *	0.06 *	0.17	0.11 *
10月	0.15	0.22	0.31	0.21	0.24	0.31
11月	0.26	0.33	0.35	0.31	0.36	0.45
12月	0.044 *	0.067	0.068	0.042 *	0.17	0.048
1月	0.048 *	0.043 *	0.037 *	0.055 *	0.049 *	0.058
2月	0.13	0.10	0.12	0.12	0.11	0.13
3月	0.090	0.11	0.17	0.13	0.16	0.14
最大値	0.32	0.37	0.37	0.41	0.39	0.56
最小値	0.044	0.043	0.037	0.042	0.049	0.048
平均値	0.16	0.20	0.20	0.20	0.22	0.26

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(8) 1,2-ジクロロエタン (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.39	0.38	0.69	0.44	0.40	0.43
5月	0.11 *	0.15	0.51	0.14	0.14	0.22
6月	0.14	0.18	1.5	0.16	0.17	0.06 *
7月	0.20	0.21	0.56	0.18	0.17	0.17
8月	0.11 *	0.10 *	1.3	0.12 *	0.12 *	0.12 *
9月	0.02 ND	0.02 ND	0.46	0.02 ND	0.02 ND	0.02 ND
10月	0.11	0.11	0.63	0.11	0.11	0.12
11月	0.19	0.15	1.0	0.17	0.16	0.17
12月	0.086 *	0.099	0.90	0.089 *	0.15	0.10
1月	0.14	0.11	2.2	0.14	0.12	0.15
2月	0.099	0.085	0.98	0.097	0.092	0.11
3月	0.22	0.19	0.86	0.19	0.21	0.20
最大値	0.39	0.38	2.2	0.44	0.40	0.43
最小値	<0.04	<0.04	0.46	<0.04	<0.04	<0.04
平均値	0.15	0.15	0.97	0.15	0.16	0.16

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(9) 1,3-ブタジエン (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.23	0.20	0.13	0.24	0.41	0.17
5月	0.056 *	0.059 *	0.055 *	0.053 *	0.098	0.075 *
6月	0.16	0.18	0.049 *	0.15	0.21	0.063 *
7月	0.075	0.058	0.075	0.048	0.27	0.10
8月	0.12	0.12	0.089	0.13	0.31	0.082
9月	0.071	0.069	0.094	0.065	0.096	0.078
10月	0.028 *	0.053 *	0.028 *	0.026 *	0.082	0.073 *
11月	0.11	0.090	0.025 *	0.071 *	0.32	0.12
12月	0.15	0.13	0.11	0.083	0.18	0.15
1月	0.11	0.10	0.15	0.082	0.10	0.15
2月	0.080	0.091	0.058	0.074	0.083	0.12
3月	0.048	0.037	0.051	0.031 *	0.068	0.048
最大値	0.23	0.20	0.15	0.24	0.41	0.17
最小値	0.028	0.037	0.025	0.026	0.068	0.048
平均値	0.10	0.099	0.076	0.088	0.19	0.10

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(10) 塩化メチル (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.1	2.3	0.91	2.5	2.2	1.9
5月	1.1	1.2	1.2	1.1	1.1	1.7
6月	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	0.32 *
7月	1.3	1.6	1.7	2.1	1.6	1.6
8月	3.3	3.8	3.0	3.3	2.8	3.5
9月	0.73	0.64	0.80	0.70	0.71	0.67
10月	1.4	1.5	1.2	1.6	1.2	1.2
11月	1.8	1.6	2.8	2.8	2.1	1.7
12月	2.0	2.6	2.4	2.4	2.4	1.9
1月	3.2	2.9	3.1	3.2	3.0	1.8
2月	3.4	3.4	2.4	2.9	3.0	3.6
3月	2.8	3.6	2.7	2.7	3.5	3.9
最大値	3.4	3.8	3.1	3.3	3.5	3.9
最小値	0.73	0.64	0.80	0.70	0.71	0.32
平均値	2.0	2.2	2.0	2.2	2.1	2.0

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(11) トルエン (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	77	14	11	18	8.3	8.1
5月	4.7	5.3	12	6.6	6.4	26
6月	4.7	7.1	5.9	6.0	5.8	2.9
7月	4.7	11	5.8	8.2	7.7	7.5
8月	17	15	28	14	19	13
9月	9.3	4.7	10	13	10	7.5
10月	4.8	6.1	6.6	8.7	7.2	9.9
11月	11	12	17	17	19	19
12月	10	11	22	15	12	17
1月	5.2	5.1	3.3	5.7	4.6	16
2月	4.1	5.2	3.9	6.6	5.3	12
3月	4.6	3.3	9.9	8.4	6.9	27
最大値	77	15	28	18	19	27
最小値	4.1	3.3	3.3	5.7	4.6	2.9
平均値	13	8.3	11	11	9.4	14

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(12) キシレン類 (単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	3.1	2.7	3.0	2.8	2.6	2.4
5月	1.4	1.6	3.4	2.1	2.2	3.3
6月	1.6	1.6	2.1	1.8	1.9	1.3
7月	1.1	1.2	1.5	1.4	1.5	1.2
8月	1.7	1.8	2.1	2.1	2.5	1.7
9月	2.1	2.0	2.5	2.2	2.7	2.7
10月	0.55	0.70	0.77	0.84	0.79	0.91
11月	1.0	1.1	1.9	1.4	1.7	1.6
12月	3.9	5.5	6.4	5.0	6.2	7.9
1月	1.9	2.2	2.3	2.1	2.3	3.5
2月	1.5	1.2	1.8	1.6	1.7	1.9
3月	0.78	0.59	0.92	1.3	1.2	1.0
最大値	3.9	5.5	6.4	5.0	6.2	7.9
最小値	0.55	0.59	0.77	0.84	0.79	0.91
平均値	1.7	1.8	2.4	2.1	2.3	2.5

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(13) アセトアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.3	3.7	4.4	3.7	3.5	2.7
5月	1.9	1.8	1.9	1.7	2.3	2.4
6月	3.9	3.6	3.8	2.8	3.6	3.0
7月	1.9	1.8	2.1	1.8	2.1	1.5
8月	2.8	2.7	3.6	2.8	3.3	2.1
9月	2.0	2.4	3.3	2.3	2.5	2.1
10月	2.5	2.5	2.6	2.4	2.4	2.1
11月	2.1	1.9	2.8	2.1	3.1	2.2
12月	2.5	2.3	2.8	2.1	2.9	2.5
1月	1.5	1.5	1.4	1.7	1.7	2.1
2月	1.5	1.5	1.4	1.7	1.4	1.8
3月	1.4	1.4	1.6	1.4	1.6	1.4
最大値	4.3	3.7	4.4	3.7	3.6	3.0
最小値	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
平均値	2.4	2.3	2.6	2.2	2.5	2.2

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(14) ホルムアルデヒド

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	4.8	4.1	5.5	4.2	4.0	3.6
5月	2.8	2.5	2.7	2.5	2.2	2.5
6月	5.9	5.3	5.8	4.9	5.0	4.2
7月	3.3	2.8	3.5	2.8	2.8	2.5
8月	5.3	4.2	6.1	3.8	4.5	3.7
9月	3.4	4.0	4.9	3.4	3.3	3.5
10月	3.0	3.1	3.3	2.9	2.8	2.8
11月	2.0	2.0	2.6	2.1	2.4	2.1
12月	2.1	1.8	2.4	1.7	2.0	2.2
1月	1.3	1.6	1.4	1.6	1.8	2.1
2月	1.2	1.3	1.1	1.2	0.93	1.4
3月	1.5	1.6	1.8	1.5	1.7	1.7
最大値	5.9	5.3	6.1	4.9	5.0	4.2
最小値	1.2	1.3	1.1	1.2	0.93	1.4
平均値	3.0	2.9	3.4	2.7	2.8	2.7

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(15) 酸化エチレン

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.11	0.096	0.11	0.11	0.080	0.075
5月	0.058	0.059	0.11	0.065	0.094	0.078
6月	0.092	0.090	0.082	0.092	0.091	0.092
7月	0.045	0.041	0.036	0.040	0.047	0.045
8月	0.042	0.042	0.048	0.043	0.055	0.036
9月	0.033	0.027	0.061	0.036	0.047	0.033
10月	0.059	0.047	0.050	0.046	0.061	0.050
11月	0.068	0.052	0.075	0.061	0.10	0.085
12月	0.064	0.051	0.09	0.073	0.080	0.080
1月	0.056	0.051	0.032	0.051	0.038	0.043
2月	0.018	0.016	0.026	0.022	0.020	0.021
3月	0.039	0.027	0.054	0.042	0.046	0.032
最大値	0.11	0.096	0.11	0.11	0.10	0.092
最小値	0.018	0.016	0.026	0.022	0.020	0.021
平均値	0.057	0.050	0.064	0.057	0.063	0.056

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, : 二重測定との平均

(16) ベンゾ[a]ピレン (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.16	0.14	0.15	0.18	0.17	0.11
5月	0.099	0.10	0.095	0.097	0.11	0.16
6月	0.22	0.14	0.42	0.23	0.47	0.074
7月	0.060	0.025	0.039	0.040	0.11	0.11
8月	0.084	0.079	0.12	0.12	0.22	0.060
9月	0.0082	0.021	0.034	0.016	0.062	0.018
10月	0.046	0.17	0.064	0.059	0.046	0.064
11月	0.079	0.11	0.16	0.070	0.13	0.14
12月	0.11	0.21	0.16	0.10	0.24	0.24
1月	0.067	0.079	0.065	0.066	0.20	0.089
2月	0.032	0.070	0.025	0.037	0.070	0.076
3月	0.050	0.053	0.069	0.043	0.056	0.059
最大値	0.22	0.21	0.42	0.23	0.47	0.24
最小値	0.0082	0.021	0.025	0.016	0.046	0.018
平均値	0.085	0.10	0.12	0.088	0.16	0.10

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(17) クロムおよびその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	3.5	3.7	4.2	3.7	4.5	5.1
5月	2.4	1.9	2.6	2.5	2.5	2.7
6月	2.3	1.8	3.4	2.7	2.4	4.0
7月	1.3	0.84	1.2	0.86	3.5	3.6
8月	2.0	2.6	3.3	1.7	4.7	3.1
9月	0.17 *	0.52	1.2	0.15 *	0.78	4.5
10月	0.43	0.49	0.34	0.54	0.82	3.4
11月	1.6	2.7	4.7	2.1	3.0	4.8
12月	2.8	3.4	5.2	2.3	4.8	6.4
1月	0.64	0.76	1.5	0.28	4.9	6.0
2月	3.1	0.44	0.27	0.40	0.68	1.2
3月	0.92	1.7	2.0	1.4	2.4	3.1
最大値	3.5	3.7	5.2	3.7	4.9	6.4
最小値	0.17	0.44	0.27	0.15	0.68	1.2
平均値	1.8	1.7	2.5	1.6	2.9	4.0

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(18) 水銀及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	2.4	2.6	2.3	2.3	2.3	2.2
5月	1.6	1.6	1.6	1.5	1.7	1.7
6月	2.0	2.0	2.0	1.8	2.2	2.0
7月	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.5
8月	1.6	1.5	1.7	1.5	1.5	1.4
9月	1.6	1.5	1.6	1.5	1.4	1.5
10月	1.7	1.8	2.0	1.9	1.8	1.9
11月	1.8	1.7	2.1	1.7	1.7	1.7
12月	1.6	1.4	1.6	1.5	1.5	1.5
1月	1.6	1.6	1.6	1.8	1.5	1.6
2月	1.7	1.6	1.7	1.6	1.4	1.8
3月	1.7	1.7	2.0	1.7	1.6	1.7
最大値	2.4	2.6	2.3	2.3	2.3	2.2
最小値	1.6	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4
平均値	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(19) ニッケル化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	3.1	2.9	3.5	3.7	3.5	7.0
5月	1.6	1.2	1.4	1.3	2.1	1.7
6月	2.1	1.7	2.4	1.9	3.3	2.7
7月	0.91	0.73	1.3	0.78	3.1	1.6
8月	1.8	2.0	2.2	1.8	4.4	1.9
9月	0.48	0.54	1.1	0.58	0.93	3.1
10月	0.49	0.30	0.21	0.44	0.79	1.4
11月	0.99	0.69	1.5	1.4	1.6	2.2
12月	1.6	1.3	1.5	1.1	1.6	2.8
1月	0.53	0.50	0.40	0.25 *	0.65	2.1
2月	1.9	0.58	0.15	0.66	0.69	0.71
3月	0.53	0.90	1.7	0.57	1.3	1.6
最大値	3.1	2.9	3.5	3.7	4.4	7.0
最小値	0.48	0.30	0.15	0.25	0.65	0.71
平均値	1.3	1.1	1.4	1.2	2.0	2.4

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(20) ヒ素及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.3	1.3	1.4	1.3	1.2	1.4
5月	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.2
6月	1.1	1.1	1.0	1.0	0.99	0.88
7月	0.44	0.41	0.33	0.33	0.33	0.37
8月	0.42	0.39	0.45	0.33	0.46	0.38
9月	0.28	0.24	0.32	0.25	0.33	0.21
10月	0.78	0.87	0.78	0.80	0.87	0.91
11月	0.82	0.77	0.96	0.77	0.71	0.82
12月	0.45	0.40	0.65	0.39	1.4	0.73
1月	0.32	0.34	0.36	0.42	0.37	0.48
2月	0.16	0.13	0.14	0.13	0.16	0.17
3月	0.87	0.95	0.90	0.81	1.2	0.87
最大値	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4
最小値	0.16	0.13	0.14	0.13	0.16	0.17
平均値	0.67	0.67	0.69	0.63	0.76	0.70

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(21) ベリリウム及びその化合物

(単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND
5月	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND	0.0025 ND
6月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
7月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
8月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
9月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
10月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
11月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
12月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
1月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
2月	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND	0.0035 ND
3月	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND	0.003 ND
最大値	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
最小値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
平均値	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(22) マンガン及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	31	31	31	28	31	37
5月	22	12	17	16	15	15
6月	16	14	18	14	17	17
7月	7.9	7.1	7.8	6.6	11	21
8月	20	19	18	13	23	18
9月	7.1	6.9	10	5.1	9.0	9.8
10月	10	12	11	10	10	18
11月	16	15	25	16	19	25
12月	21	17	20	13	19	28
1月	9.5	11	9.7	7.5	11	21
2月	3.1	3.6	3.4	3.5	4.3	6.8
3月	12	12	11	11	13	19
最大値	31	31	31	28	31	37
最小値	3.1	3.6	3.4	3.5	4.3	6.8
平均値	15	13	15	12	15	20

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(23) 亜鉛及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	63	66	56	63	82	67
5月	40	38	69	35	76	63
6月	71	53	68	52	86	190
7月	18	22	24	18	42	48
8月	52	52	47	42	65	38
9月	25	24	30	18	38	42
10月	30	39	40	31	55	66
11月	55	58	120	52	74	92
12月	66	58	63	46	110	120
1月	26	37	41	32	49	130
2月	7.3	23	18	23	19	42
3月	39	34	40	34	61	110
最大値	71	66	120	63	110	190
最小値	7.3	22	18	18	19	38
平均値	41	42	51	37	63	84

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(24) バナジウム及びその化合物 (単位: ng/m³)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9
5月	2.6	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4
6月	1.7	1.5	2.0	1.6	2.2	1.9
7月	0.94	1.0	0.91	1.0	1.4	2.7
8月	2.8	2.8	2.5	2.1	3.1	2.1
9月	0.53	0.53	0.72	0.28	0.79	0.77
10月	0.79	0.94	0.89	0.83	1.1	1.7
11月	0.87	1.0	1.1	0.61	1.3	1.7
12月	0.93	1.1	0.91	0.54	1.1	1.5
1月	1.3	1.4	0.67	0.77	0.98	1.9
2月	0.18	0.17	0.13	0.17	0.16	0.47
3月	0.91	1.1	0.79	0.78	1.1	1.6
最大値	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	3.9
最小値	0.18	0.17	0.13	0.17	0.16	0.47
平均値	1.5	1.4	1.3	1.2	1.5	1.8

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(25) カドミウム及びその化合物

(単位: ng/m^3)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	0.25	0.23	0.19	0.27	0.17	0.16
5月	0.10	0.13	0.17	0.10	0.12	0.12
6月	0.20	0.15	0.16	0.15	0.14	0.11
7月	0.16	0.070	0.078	0.061	0.076	0.080
8月	0.11	0.081	0.070	0.062	0.076	0.055
9月	0.044	0.034	0.042	0.034	0.032	0.033
10月	0.11	0.14	0.16	0.16	0.14	0.13
11月	0.15	0.14	0.20	0.12	0.14	0.45
12月	0.27	0.14	0.17	0.12	0.20	0.17
1月	0.080	0.087	0.15	0.11	0.13	0.12
2月	0.045	0.091	0.065	0.091	0.081	0.070
3月	0.11	0.097	0.11	0.095	0.11	0.12
最大値	0.27	0.23	0.20	0.27	0.20	0.45
最小値	0.044	0.034	0.042	0.034	0.032	0.033
平均値	0.14	0.12	0.13	0.11	0.12	0.13

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(26) 鉛及びその化合物

(単位: ng/m^3)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	13	25	8.2	11	8.2	7.6
5月	10	7.1	6.0	7.4	12	55
6月	10	12	9.3	7.4	9.4	41
7月	2.8	2.8	3.0	8.9	4.1	3.8
8月	3.2	3.3	3.8	3.1	4.1	2.7
9月	1.9	1.8	2.0	2.0	2.7	1.8
10月	4.5	4.8	6.6	4.4	6.8	5.7
11月	7.6	5.4	17	3.8	6.9	7.8
12月	6.6	3.8	6.9	4.2	49	12
1月	2.8	2.4	2.9	2.7	5.1	5.4
2月	1.2	4.5	3.1	4.6	1.6	1.9
3月	3.5	3.7	3.9	3.1	4.1	5.1
最大値	13	25	17	11	49	55
最小値	1.2	1.8	2.0	2.0	1.6	1.8
平均値	5.6	6.4	6.1	5.2	9.5	12

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

(27) 浮遊粉じん

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	74	83	72	70	70	77
5月	45	37	39	33	42	45
6月	39	41	37	32	36	39
7月	22	24	22	19	26	40
8月	32	36	32	26	42	32
9月	24	26	26	20	24	28
10月	24	31	27	25	29	38
11月	37	39	45	31	42	47
12月	31	32	31	21	38	48
1月	20	28	20	15	26	52
2月	10	15	11	12	13	23
3月	23	29	26	21	36	48
最大値	74	83	72	70	70	77
最小値	10	15	11	12	13	23
平均値	32	35	32	27	35	43

*: 定量下限値未満, ND: 検出下限値未満, ■: 二重測定との平均

※ NDを付した測定値は検出下限値の1/2(これを平均値算出に用いている)

※ 最大値・最小値が検出下限値未満の場合は「<検出下限値」として表示

表Ⅰ－１１ 調査時間帯の気象データ

(1) 天候

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
5月	晴	晴	曇のち晴	晴	晴	晴
6月	晴のち曇	晴	晴のち曇	晴のち曇	晴	晴
7月	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇のち晴	曇
8月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
9月	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇
10月	晴のち曇	晴のち雨	晴のち曇	晴のち雨	晴のち曇	晴のち雨
11月	晴のち雨	曇のち雨	晴のち雨	曇のち雨	晴のち雨	晴のち曇
12月	晴	晴	晴	晴	晴	晴
1月	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇
2月	雪のち曇	曇のち雨	雪のち雨	曇	曇のち雨	曇
3月	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇	晴のち曇

(2) 主風向

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	CALM	CALM	SSW	CALM	SSW	S
5月	SSE	S	SSE	SE	CALM	NW
6月	E	E	ESE	ESE	SSW	SSE
7月	SE	SSE	S	－	SSW	S
8月	SE	SSE	S	－	SSW	S
9月	SE	CALM	S	－	SSW	S
10月	WNW	NNW	N	－	NNE	SSE
11月	WNW	CALM	CALM	－	CALM	WNW
12月	WNW	CALM	SE	－	CALM	ESE
1月	WNW	NNW	N	－	NNE	NNE
2月	WNW	NNW	NNW	NW	NNE	N
3月	NW	N	NNW	NW	NNE	N

(3) 風速

(単位: m/s)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1.1	0.9	1.5	1.7	1.5	2.6
5月	1.7	1.6	1.8	2.3	0.7	1.4
6月	1.6	1.3	2.0	2.7	0.8	2.0
7月	1.7	1.3	2.3	－	1.8	3.5
8月	1.6	1.2	1.8	－	1.1	2.6
9月	1.5	1.2	1.6	－	1.0	2.4
10月	1.6	1.3	1.7	－	0.7	1.7
11月	0.8	0.6	0.8	－	0.4	1.1
12月	0.9	0.6	1.0	－	0.6	1.0
1月	2.1	1.9	2.1	－	1.6	1.6
2月	2.1	1.4	1.9	2.0	1.3	1.1
3月	2.1	1.9	1.2	2.1	0.9	1.2

(4) 気温

(単位: °C)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	21.9	20.8	22.5	19.8	21.9	22.4
5月	16.1	15.5	15.9	15.0	15.3	16.0
6月	25.4	25.0	25.2	24.0	25.0	25.9
7月	25.4	25.3	26.3	24.9	25.8	26.5
8月	31.7	31.2	31.4	29.6	31.0	31.9
9月	28.9	29.5	29.3	28.2	29.8	30.6
10月	20.5	21.8	20.8	20.7	22.1	23.2
11月	15.1	15.5	15.4	15.0	17.1	17.8
12月	11.0	10.3	11.4	9.8	11.6	12.2
1月	5.2	6.3	5.2	5.3	6.6	7.1
2月	1.9	1.6	1.7	1.0	1.1	1.8
3月	7.5	8.2	7.6	7.2	9.0	9.4

(5) 湿度

(単位: %)

	熊谷	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	69	69	65	66	62	66
5月	60	63	63	55	63	68
6月	61	60	60	54	57	59
7月	82	79	77	72	76	79
8月	67	65	67	64	64	66
9月	77	72	73	71	68	72
10月	75	64	75	65	65	66
11月	76	72	77	67	64	66
12月	69	66	74	69	70	72
1月	45	44	49	39	44	42
2月	83	85	91	91	89	82
3月	42	41	48	38	38	36

(6) 雨量

(単位: mm)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学*2	草加花栗	戸田美女木
4月	0	—	—	0	—	—
5月	0	—	—	0	—	—
6月	0	—	—	0	—	—
7月	2	—	—	12	—	—
8月	0	—	—	0	—	—
9月	0	—	—	0	—	—
10月	15.5	—	—	8	—	—
11月	0	—	—	0	—	—
12月	0	—	—	0	—	—
1月	0	—	—	0	—	—
2月	24.5	—	—	28.5	—	—
3月	0	—	—	0	—	—

(7) 気圧

(単位: hPa)

	熊谷 *1	東松山	春日部	環境科学	草加花栗	戸田美女木
4月	1005.9	—	—	—	—	—
5月	1020.4	—	—	—	—	—
6月	1010.7	—	—	—	—	—
7月	1002.5	—	—	—	—	—
8月	1007.9	—	—	—	—	—
9月	1006.6	—	—	—	—	—
10月	1017.3	—	—	—	—	—
11月	1022.6	—	—	—	—	—
12月	1007.9	—	—	—	—	—
1月	1014.5	—	—	—	—	—
2月	1016.3	—	—	—	—	—
3月	1020.8	—	—	—	—	—

出典: (1) 天候は測定者によるもの、(2) 主風向 ~ (7) 気圧は
以下の1時間値
データを基に算出した測定時間中の平均値
(主風向は最頻値)

(無印) 埼玉県大気汚染常時監視システム

* 1 気象庁ホームページ

(<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

* 2 埼玉県環境科学国際センター観測データ